

第18回
NTTグループ
全国空手道選手権大会

開催日 平成25年10月26日(土)

場所 工学院大学アトリウム(本館1F)

主催 NTTグループ空手道連盟

主管 NTT東京空手道部

NTTデータ空手道部

NTT通研空手道部

工学院大学古武術部

ごあいさつ



NTTグループ空手道連盟

会長 篠原 弘道

全国のNTTグループ空手道愛好家、皆様のご賛同とご協力のもとに、
「第18回NTTグループ全国空手道選手権大会」開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

空手道は日本古来の武道であり伝統文化であります。

古くは沖縄にて発祥し、様々な流派が派生し現在に至っております。今日において空手道は世界的に普及し、多くの人々に愛好されており、最近では、オリンピックの種目として候補に挙がっております。

武道である空手道は、心と体、技を磨くとともにその奥義を会得し人間形成に努めていくものです。礼儀と和を重んじ、誠実謙虚な心を養い、真の道をまもり、人格陶冶に努めていくものです。

空手道は、年齢・性別・身体の大小などに関わりなく始められる武術で、無理なく続けられるものであります。

皆様は、この伝統ある空手道を研鑽されていることに自信と誇りを持ち、NTTグループを盛りたて、社会貢献を実現していただきたいと思っております。

本連盟は平成7年7月にNTT空手道連盟として設立して以来、今年で18年目を迎えることとなりました。その間、地域の空手道愛好家の発掘に努め、平成14年11月にはNTTグループ空手道連盟と名称を改めて、NTTグループ全国各地の空手道愛好家の集う場所として、技と心身の鍛錬と空手道を通じた交流に寄与しているところです。

本大会においても、日頃から切磋琢磨した空手道の技を遺憾なく発揮しあうとともに、相互の交流を深めて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、「第18回NTTグループ全国空手道選手権大会」の開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位並びにご観戦の皆様にご心からお礼を申し上げます。

また、NTTグループおよび関連会社の空手道愛好家の方々の参加のもと、本連盟の今後のさらなる発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

大会役員

大会会長	篠原 弘道	(NTT常務取締役)
大会副会長	浅谷 耕一	(工学院大学古武術部)
大会副会長	藤田 拓	(NTTデータビジネスシステム)
実行委員長	高野 誠	(NTT通研空手道部)
実行副委員長	原 元一	(NTT東京空手道部)
実行委員	佐藤 慎一	(NTTデータ空手道部)
実行委員	山角 修一	(NTT鹿児島空手道部)
実行委員	知花 賢宜	(NTT沖縄空手道部)
実行委員	篠原 一夫	(NTT四国空手道部)
実行委員	加来 慎一	(工学院大学古武術部)
実行委員	山口 澄	(NTT東京空手道部)
実行委員	土田 淳一	(NTT東北空手道部)
大会幹事	森田 稔	(NTT東京空手道部)
大会幹事	前大道 浩之	(NTT通研空手道部)
大会幹事	田中 勝志	(NTT東京空手道部)

審 判 団

大会審判長	山口 澄	(NTT東京空手道部)
副 審 判 長	加来 慎一	(工学院大学古武術部)
審 判 員	高野 誠	(NTT通研空手道部)
審 判 員	浅谷 耕一	(工学院大学古武術部)
審 判 員	原 元一	(NTT東京空手道部)
審 判 員	秋永 弘	(NTT東京空手道部)
審 判 員	田中 康雄	(NTT東京空手道部)
審 判 員	山本 吉文	(NTT東京空手道部)
審 判 員	柿本 靖生	(NTT東京空手道部)
審 判 員	佐藤 慎一	(NTTデータ空手道部)

大 会 監 査

大会監査員	藤田 拓	(NTTデータ空手道部)
-------	------	--------------

大会次第

大会プログラム(1/2)

第一部 開会式

1. 選手入場
2. 開会の辞 大会実行委員長 高野 誠 (NTT通研空手道部)
3. 国旗遥拝
4. 大会会長挨拶 大会会長 篠原 弘道 (NTT常務取締役)
5. 来賓祝辞
6. 優勝杯の返還
7. 選手宣誓
8. 審判注意 大会審判長 山口 澄 (NTT東京空手道部)
9. 選手退場

第二部 形試合

個人形試合

- 段外の部
- 女子の部
- 有段の部
- シニアの部

第三部 演武

- NTT東京空手道部
- NTT通研空手道部
- NTTデータ空手道部
- 工学院大学古武術部

第四部

組手試合

- シニアの部
- 段外の部
- 有段の部
- 女子の部

- 団体の部

大会プログラム(2/2)

第五部 閉会式

1. 役員・選手整列

2. 表彰

形試合

女子の部	優勝・準優勝・3位
段外の部	優勝・準優勝・3位
シニアの部	優勝・準優勝・3位
有段の部	優勝・準優勝・3位

組手試合

女子の部	優勝・準優勝・3位
段外の部	優勝・準優勝・3位
シニアの部	優勝・準優勝・3位
有段の部	優勝・準優勝・3位

団体組手試合

団体の部	優勝・準優勝・3位
------	-----------

3. 国旗遙拝

4. 大会講評 大会監査役 藤田 拓 (NTTデータ空手道部)

5. 閉会の辞 大会実行副委員長 原 元一 (NTT東京空手道部)

参加団体

NTT東京空手道部
NTT通研空手道部
NTTデータ空手道部
工学院大学古武術部

参考

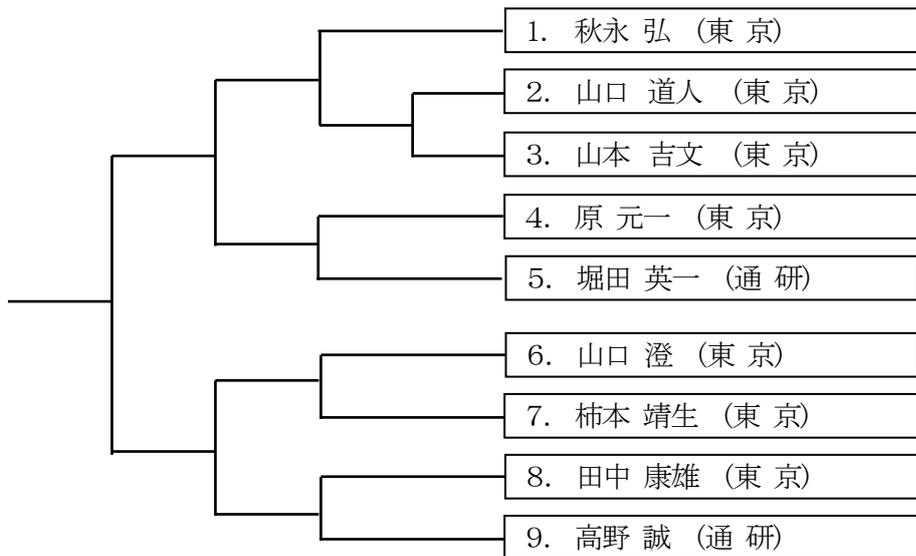
- ・形 一覧
- ・大会規則 (抜粋)

個人形試合

段外の部



シニアの部

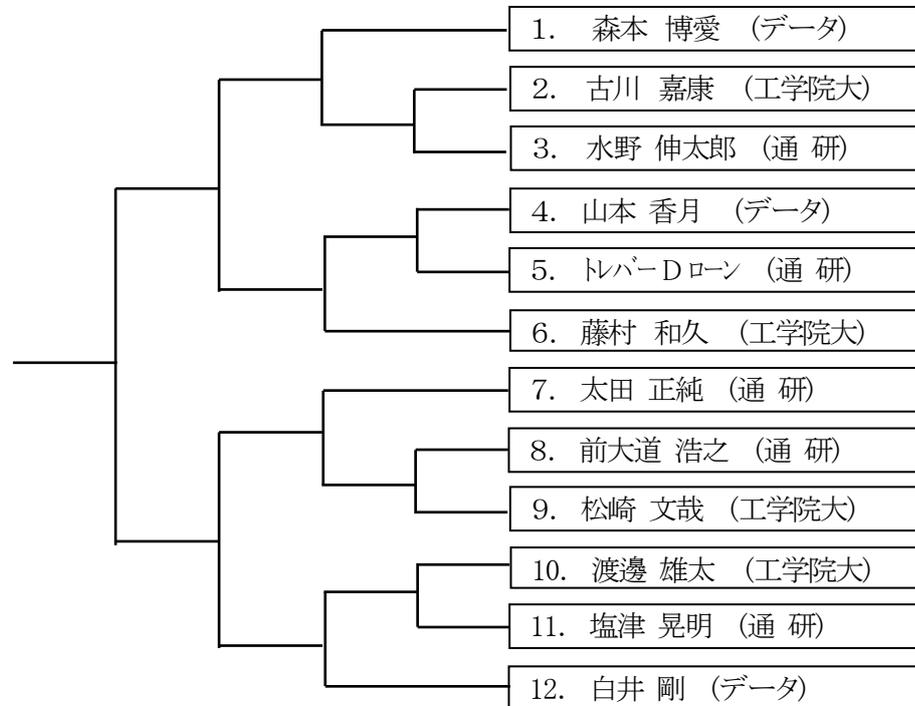


個人形試合

女子の部

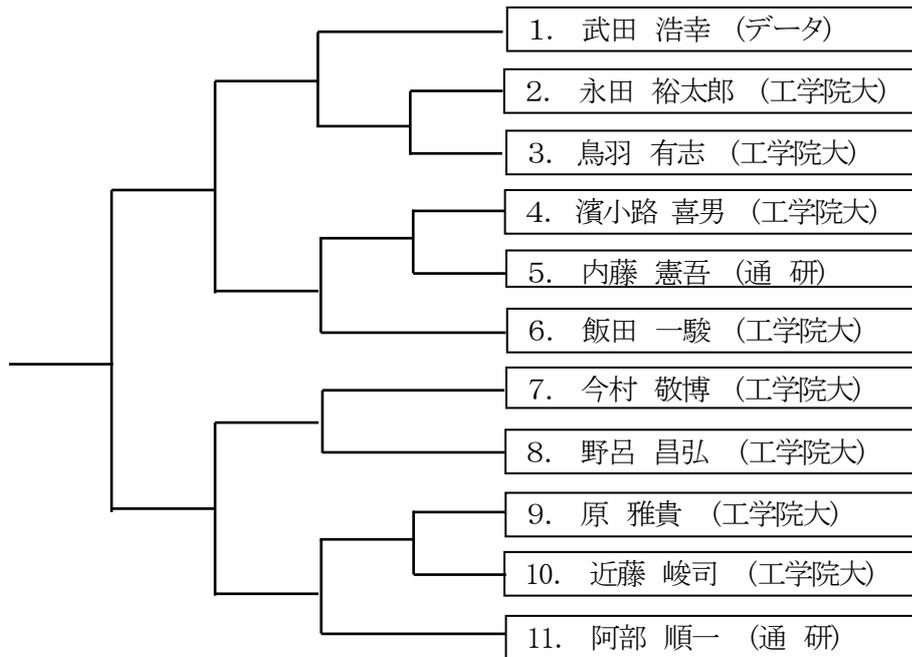


有段の部



個人組手試合

段外の部



シニアの部



女子の部

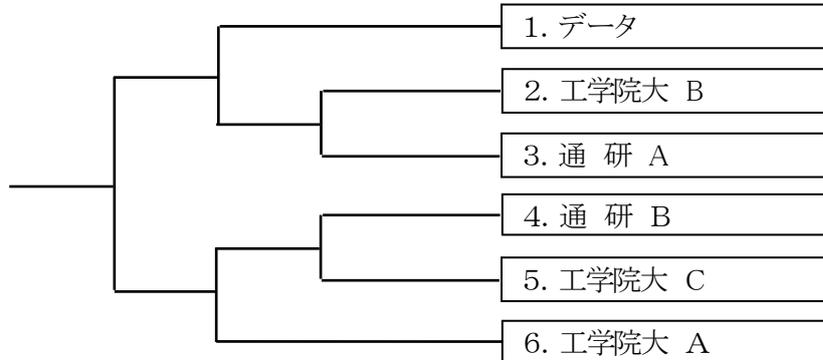


個人組手試合

有段の部



団体組手試合



団体チーム構成

データ	
監督	白井 剛
大将	白井 剛
中堅	武田 浩幸
先鋒	山本 香月
補欠	
補欠	

通研 A	
監督	水野伸太郎
大将	水野伸太郎
中堅	太田正純
先鋒	野村啓仁
補欠	
補欠	

通研 B	
監督	前大道浩之
大将	前大道浩之
中堅	阿部 順一
先鋒	内藤憲吾
補欠	塩津 晃明
補欠	トレバー・D ローン

工学院大 A	
監督	浅谷 耕一
大将	森藤 知英
中堅	藤村 和久
先鋒	小笠 航
補欠	野呂 昌弘
補欠	鳥羽 有志

工学院大 B	
監督	浅谷 耕一
大将	古川 嘉康
中堅	松崎 文哉
先鋒	渡邊 雄太
補欠	小澤 孝幸
補欠	原 雅貴

工学院大 C	
監督	加來 慎一
大将	飯田 一駿
中堅	今村 敬博
先鋒	永田 裕太郎
補欠	濱小路 喜男
補欠	

形名称 一覧

アーナンク 南光
ワンシュウ 汪楫
セイサン セイシャン 十三手 十三歩
バツサイ パツサイ 拔塞(大/小)
オヤトマリノバツサイ 親泊の拔塞
ヘイアン ピンアン 平安(初段~五段)
テッキ ナイファンチ 鉄騎(初段~三段)
ジオン 慈恩
ジイン 慈陰
クーシヤンクー 公相君
カンクウ 観空(大/小)
ゴジュウシホ 五十四歩(大/小)
ニーセイシー 二十四歩
ソウチン 壮鎮
エンピ 燕飛
ガンカク 岩鶴
チントウ 鎮東
ゲキサイ 撃碎
ハンゲツ 半月
ジッテ 十手
チンテ 珍手
ウンスー 雲手
メイキョウ 明鏡
ワンカン 王冠
セイエンチン 征遠鎮
セーパイ 十八手
サイファ 碎破
マツムラローハイ
ニーパイポ 二十八歩
クルルンファ 久留頓破
スーパーリンペイ 壱百零八手

大会試合規則

形試合

試合形式 (主審1人、副審4人)

2選手同時演武によるフラッグ判定

- ・有段者、シニア : 2回連続して同一形演武は禁止
(2つの持形を交互演武可能。2つ以上の持形演武可能。)
- ・段外者、女子 : 決勝まで1つの持形演武可能
(1つ以上の持形演武可能。)

個人組手試合

試合形式 (主審1人、副審4人)

(財)全日本空手道連盟(JKF)の定める空手道競技規定

- ・シニア 1試合 1分30秒流し 2ポイント先制
- ・女子 1試合 1分30秒流し 4ポイント先制
- ・段外 1試合 1分30秒流し 4ポイント先制
- ・有段 1試合 2分流し 6ポイント先制

組手試合ポイント

得点の呼称	ポイント	技、攻撃
有効	1	上段突き/中段突き、打ち、
技あり	2	中段蹴、背部への突き、相手崩後の攻撃
1本	3	上段蹴

禁止行為

懲罰	状況
C1(カテゴリ1)	一般的に負傷につながる行為 等(下記はその例)
C1 忠告	□喉への接触技
C1 警告	□腕、脚部、股間部、関節、足の甲への攻撃
C1 反則注意	□貫手による顔面攻撃、開手による顔面攻撃
C1 反則	□負傷の原因となる危険な、又は禁止されている投げ技
C2(カテゴリ2)	・場外に出る、無防備、負傷装い、投げ、つかみあい、等
C2 忠告	□危険でコントロールされていない攻撃
C2 警告	□逃げること(相手に得点を取られないよう攻撃をしない行為)
C2 反則注意	□頭部、肘、膝での攻撃
C2 反則	□自ら負傷を受けやすいような行動をとること

10秒ルール (時間の計測は主審の笛合図により開始)

懲罰	状況	条件
失格	相手の反則行為無しで、自ら倒れ込む。	10秒以内に立ち上がれない
棄権	ノックダウン(もつれ等含む)(主審/ドクターストップ含む)	10秒以内に立ち上がれない
C2 忠告	反撃をせずに絶えず後退し、相手に得点の機会を与えない行為。(得点が上なので逃げる行為)	残り10秒未満の行為 (笛合図によらない)

団体組手試合

試合形式

錬心館空手道規則 (後述)

- ・団体 (3名/チーム) 1試合 1分30秒流し 2ポイント先制

全日本少林寺流空手道連盟審判規定（第2章 『組手試合』 抜粋）

（攻撃の有効性）

第9条 試合開始の宣告前に施された攻撃は無効とし、試合時間終了の合図と同時に施された攻撃は、有効とする。

2 試合中、双方または一方が場外に出た場合に施された攻撃は、無効とする。ただし、攻撃した方が瞬間場内にあり、かつ他方の片足が場内にあったときは、有効とする。

（判定の基準）

第11条 「一本」は、「突き」、「打ち」、「蹴り」、の性格、有効かつ威力のある攻撃が次に掲げる状態で、上半身部（背面をのぞく）の範囲内になされたときに認めるものとする。（下半身への攻撃は禁止）

(1) 基本的正しい姿勢と攻撃、反撃時の的確な間合いの保持

(2) 残心、充実した気力と正確な攻撃目標の把握

(3) 前2号のほか適正な有効攻撃と認められたとき

※ 「一本」は、相当な破壊力があつたときでないとは認められない。

2 「技あり」は、「一本」には認められないが、相当有効と認められる技があつたときに認めるものとする。尚、「技あり」二つ取得で「一本」となる。

3 「判定」は、次に掲げる事項を総合的に判断して行う。

(1) 反則及び場外の有無

(2) 試合中の態度及び戦術の優越等

(3) 技の巧拙、気迫及び遷移の有無等

（有効技）

「突き」・・・正拳突き（中段・上段）。

「打ち」・・・手刀打ち、螺旋（回転）手刀打ち。

「蹴り」・・・前蹴り、前回し蹴り、足刀蹴り、後ろ回し蹴り、飛び蹴り等。

（無効技・禁止技）

頭突き、肘打ち（猿臂当て）、膝蹴り、下段蹴り等。

（反則等に対する措置等）

第12条 禁止事項を犯し、主審から反則を宣告されたときは、相手方の「一本」または「技あり」とする。

（第2項以降 省略）

（禁止事項）

（第13条）次に掲げる技及び言動は、禁止する。

(1) 倒れた相手に対し、攻撃すること。

(2) 場外に逃げること。

(3) 戦意を喪失して相手に背を向けること。

(4) 執拗にまたは故意に有効攻撃の範囲外の部位を攻撃すること。

(5) 相撲行為やタックル行為等、危険な行為をすること。

(6) 時間を空費するための行動をとること。

(7) 罵倒及び挑発的な言動等、相手の人格を無視するような言動をとること。

第14条 主審は、前条各号のいずれかに該当すると認めるときは、「反則」を宣告するものとし、当該行為の内容が重大であるとみとめるときは、選手としての資格を失う旨を宣告するものとする。

(1) 主審の指示に従わないとき。

(2) 極端に興奮し、試合を続行することが有害と認められるとき。

(3) 人道に反する言動をしたとき。